



野洲慈恵会通信

第46号

ぎおうの里・悠紀の里・悠紀の里びわ・あやめの里・デイセンターさくら・きたの保育園



発行：社会福祉法人野洲慈恵会

TEL：077-586-5444（代表）

住所：〒520-2351 滋賀県野洲市富波甲1340番地1

FAX：077-586-5159

ホームページアドレス <http://yasujikeikai.jp/>

いだき、感謝・感謝の気持ちでいっぱいです。
さて、少子高齢化・労働人口の減少は待ったなしです。国は令和元年に「働き方改革」の実施により、仕事と生活の調和を図り、雇用の確保・安定化等の方針を打ち出しました。当法人も今迄以上に「仕事のメリハリ・気配り」が必要です。

合わせて仕事の効率化・デジタル化推進により、余暇を作り出し、これが安定雇用の要因となります。いざにしましても、法人の財産は職員であり、職員が安心して働き続けられる職場環境こそが、ご利用者への質の高いサービスを提供できるものと強く感じています。

慢性的な人材不足の解決策として、介護に興味を持つていただける方をひとりでも増やすことが大切で、幅広い年齢層の方や特定技能などの外国人の採用を積極的に行い、研修等により人材育成を行いながら職員のレベルアップを図っていく所存です。

事業の継続は、地域の方々の信頼と安心があつて初めて実現できます。年々、法人を取り巻く環境は厳しくなっていますが、事業の安定に一層努力する所存です。

今年も皆様のご支援の程、何卒よろしくお願い申上げます。



新しい年を迎えて、お慶び申し上げます。

社会福祉法人野洲慈恵会
理事長 奥 村 義 一

あやめの里 リハビリでイキイキと！
デイサービスセンターあやめの里 介護職員兼生活相談員
セントラリーデイサービス「あやめの里」の新しい取り組み
北田 幸恵

「あやめの里」では、昨年の夏から理学療法士の先生による機能訓練をスタートしました！毎週水曜と木曜、「利用者の皆さん」の体の状態を見ながら、困りごとや目標に合わせた運動や作業プログラムに取り組んでいます。

例えば…

- 「歩行訓練」…平行棒を使って歩く練習や段差を昇り降りする練習
- 「筋力アップ」…膝や股関節の筋力維持のための運動
- 「肩や腕のストレッチ」…肩が上がりにくい方にぴったり！
- 「リラックススマッサー」…咳が出る方に優しいケア
- 「手先のリハビリ」…毛糸編みで楽しくリハビリなどです。

△利用者の声と変化

訓練を続けるうちに、「自信がついて外を歩きたくなつた！」という方や、「友達と一緒に頑張るのが楽しい」と話される方も増えています。また、昼食後には、50mの距離を杖や歩行器を使つて歩いたり、体操をしたりする姿も見られるようになりました！

△笑顔あふれる 「あやめの里」を目指して

仲間と励まし合いながら前向きに取り組む皆さんの姿に、私たちスタッフも元気をもらっています。これからも、「あやめの里に来て良かった！」と思つていただけるようなケアを目指して、楽しいプログラムをお届けしています！



みんなでおいしくぱくぱくパーティー！

きたの保育園 保育士

西坂香奈

11月初めの土曜日、おうち（クラス）ごとに決めた食べ物を、子どもたちや保護者の方々、そして職員も一緒に作って作り、「食」を囲みながら交流する「ぱくぱくパーティ」を開催しました。ひまわりのおうちではオムレットを作りました。口頃から食べることやウッキン

が大好きなひまわりのおうちの子どもたちで、この日はお父さんお母さんと一緒に美味しいものを作るといふことがとても嬉しく、ワクワクした様子でした。みんなで協力して作っていく中で、保護者の方同士でも朗らかに会話をされたり、職員も含め出来上がったものを食べながらみんなで和気あいあいとお話をされる姿がたくさん見られました。

親子での交流はもちろん、保護者同士、保護者と職員、大人と子どもなどなど、様々な交流が生まれ、とても楽しい時間を過ごすことが出来た一日となりました。



長寿を祝う会

悠紀の里 びわ 介護職員

堀江広美

11月9日、長寿を祝う会を行いました。コロナ禍ではご家族の方に参加いたただることは叶いませんでしたが、今年はご家族の方も招待することができます。久しぶりにお会いされたご家族と一緒におやつの練り切りと昆布茶を召し上がり、涙ぐまれるご利用者もおられました。

長寿を祝う会では、職員の出し物としてクラリネットとキーボードの演奏を行いました。コスプレの好きな職員が自分で衣装も作り、みんな仮装をしての演奏です。施設長もチャイナ

ドレスで飛び入り参加しました。演奏では、「琵琶湖周航の歌」や「水戸黄門」、「富士山」など皆さんよく知つておられる曲ばかりで、一緒に歌つて下さったりと楽しい時間はあつという間に過ぎていきました。ご家族が帰られる時は玄関の外までお見送りされ、いつまでも名残惜しそうにお話をされていました。

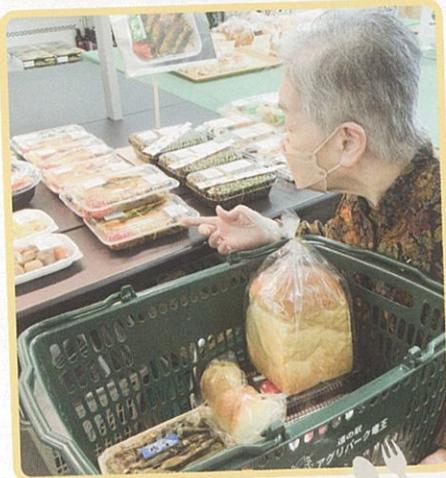
ようやく面会も自由にしていただけようになりました。「ご利用者がご家族と過ごせる時間をこれからも大切にしている」と思いました。



恒例のお楽しみ

デイセンターさくら 介護職員兼生活相談員

青木 奈保子



ひんやりとした風が吹き抜け、木々は黄や赤に美しく彩られはじめた11月。デイセンターさくらでは、ご利用者に楽しんでいたため、お買い物やおやつ外出を何度も開催しています。11月は5回目の外出。もはや恒例となつてきており、「今度はどこに行くの」と嬉しそうに聞いてくださいます。場所はアグリパーク竜王。お買い物とフレープやジエラートを味わえることで「フレープってどんなん?」と興味津々でした。手作りパンに小魚の佃煮や季節の野菜・果物も並べられており、真剣に商品を選んでいる姿が印象的でした。「これは家族にお土産」と笑顔で見せてくださる方も。その後

はデザートを食べ、「フレープって食べたことなかつたけど美味しいな」と8歳、90歳を過ぎて初体験です。年齢にとらわれずまだ様々な体験をしてほしい、と改めて感じました。今後も「楽しかった」「面白かった」と思っていたけるような企画を提案していきたいと思います。



子ども達と芋掘り体験

特別養護老人ホーム ぎおうの里 介護支援専門員

川端 賢



ぎおうの里でも行事等で職員が河童に仮装したり（インスタを見てください）等、少しでも笑顔になつて楽しんでもらえるようにと考えていますが、子ども達の笑顔に勝るものはないと改めて実感しました。今年度から始まつた交流事業ですが、これからもご利用者が笑顔でぎおうの里で過ごせるように、定期的に行っていく予定です。

当初、無事に育っているのか心配で、これはスーパーでさつま芋を買に行かなければならぬかと悩みましたが（冗談です）、一緒に掘り起こしてみると見事に大きなさつまいも芋が収穫できました。子ども達も「大きいのがいっぱい取れたー」と大はしゃぎで、その様子をご利用者も微笑ましく見守つておられました。



きたの保育園
とぎおうの里の
交流事業として、5月にさつま芋の苗植えを行いました。芋の苗は子ども達の成長と共にすくすくと育ち、10月にきたの保育園の子ども達と一緒に、芋掘りを行いました。

当初、無事に育っているのか心配で、これはスーパーでさつま芋を買に行かなければならぬかと悩みましたが（冗談です）、一緒に掘り起こしてみると見事に大きなさつまいも芋が収穫できました。子ども達も「大きいのがいっぱい取れたー」と大はしゃぎで、その様子をご利用者も微笑ましく見守つておられました。

法人創立34周年と永年勤続表彰



(福)野洲慈恵会は、令和6年11月29日で創立34周年を迎えました。これも偏に地域の皆様のご支援、ご協力のたまものと心より感謝申し上げます。

この日は同時に職員の永年勤続表彰式も開催しています。今年は、20年勤続者11名、10年勤続者8名の計19名が受賞し記念品が贈呈されました。

授賞式の後には、参加者と施設長や園長がテーブルを囲みおいしいデザートを食べながら思い出を語り合いました。

今後とも地域の皆様に愛される施設づくりを目指し、職員一丸となり、より一層社会福祉に貢献して参ります。



物品募集

連絡先
悠紀の里 ☎077-587-4111
あやめの里 ☎077-589-8533

悠紀の里：タオル、カレンダー
あやめの里：タオル

前回の物品募集において、たくさんの方からご協力をいただき本当にありがとうございました。

大切に使わせていただいております。

職員を募集しています

野洲慈恵会では、一緒に働いてくださる介護職員を募集しています。

無資格・未経験の方でも安心して仕事ができるよう、職員が直接指導し習得段階に応じて仕事をしていただいている。

お知り合いの方で求職中の方がおられましたら、お声かけいただけすると幸いです。

連絡先

野洲慈恵会本部（ぎおうの里内）
☎077-586-5444 採用担当まで

共同送迎サービス 「ゴイッショやす」



デイサービス等の朝夕の送迎業務は各施設で行っていますが、2024年10月より当法人の3施設を含め、市内8つの介護施設等が共同送迎サービスの運行を開始しました。これは送迎業務の一部を一般社団法人やす地域共生社会推進協会がダイハツ工業株式会社の運行管理システムの提供を受け、「ゴイッショやす」として運行を開始したものです。送迎業務の一部を外部に委託し、共同運行することで効率化を図る仕組みです。このサービスを有効に活用し、本来の生活支援により力を入れていきたいと考えております。

